

大阪府立高津高等学校 高津 LCⅡ

# 課題研究ノート 改訂版

科目/班

研究テーマ

班員

2年 組番 氏名 \_\_\_\_\_

担当教員

使用期間

年 月 日 ~

年 月 日

## 【課題研究ノートとは】

課題研究ノートは、高津 LCⅡの授業内で、研究テーマの立案から調査・実験方法、結果、考察、思考の整理まで、全てを記録するものです。

## 【課題研究ノートの意義】

- ・研究内容をまとめて発表するときや論文執筆時の基礎資料となります。
- ・疑問点やひらめいたアイデアを記録したり、調査・実験の計画や結果を記録しておくことで、記憶違いや勘違いを防止し、正しい結果やデータを残します。
- ・正確に活動の記録をとることで、研究不正を防ぎます。

## 【課題研究ノート使用上の注意事項】

### ①適正な管理と長期間の保管を行ってください

- ・外での実験以外で活動場所から持ち出すことは禁止です。
- ・個人が持ち帰ったりせず、担当教員から指示された場所に保管します。

### ②記載の改変が不可能になるよう使用してください

- ・ボールペン等で記入し、鉛筆やシャープペンシル等の消すことのできるものは使用してはいけません。
- ・訂正する場合は、訂正前の状態が見えるように二重線で訂正します。消しゴムや修正テープ、塗りつぶしは事実の隠蔽になります。「間違えて記入した」ことも事実の一つと捉えます。
- ・データや画像を貼り付けるときは、糊でしっかりと貼り付け、割印の要領で署名をします。
- ・記入者以外の人物が読んでも理解できるように記入します。略語やコードは使用しません。
- ・付け加え防止のため、空白のページや余白を作りません。余白ができたときは「以下余白」と書きます。

### ③客観性を担保してください

- ・使用後に担当教員による確認と署名、確認日の記入を行います。

## 【課題研究ノートの活用方法】

- ・2ページと3ページは目次です。後から目的の情報をたどりやすいように目次を作ります。
- ・研究記録の記入時は活動日の目的を書きます。活動日の目的はそれを見れば「何をしたのか」が想像できるものにします。「なぜ」それをやることにしたのか理由も書くと良いでしょう。
- ・調査・実験について調べたことは全て記入します。
- ・試薬を使用する時は「正式名称」「英語名称」「分子量」「化学式」を、実験を行う時は「原理」「実験装置」も記入します。
- ・数値は全て単位まで記入します。
- ・関連情報が別紙である場合はコピーを貼り付けます。
- ・画像を残す場合は「トリミング」「コントラスト調整」以外の操作をしてはいけません。
- ・疑問に思ったこと、思いついたアイデア、気になったことなど、全て記入します。
- ・清書は要りません。すぐに記入します。
- ・調査・実験計画は現在形、実験結果は過去形で記入します。
- ・まちがいや予定通りいかない場合でも全て克明に記入します。
- ・計算をした場合は、計算式も残します。
- ・担当教員や他者からもらったアドバイスも記入します。
- ・授業の終わりには、次回の計画を立て、『次回に向けて』に記入します。

### 【記入例】

最初に記録者が日付と署名を記入する

最後に担当教員が日付と署名を記入する

記入者 高津 太郎 確認教員 上本 町子

・現状の把握【□に記号を記入: ◎(十分にOK)、○(一応OK)、△(不十分な部分あり)、×(未着手)】

課題(研究テーマ)の検討  先行研究や資料の調査  実験(調査)方法の検討 

実験(調査)計画  必要物品の把握・調達  データ(結果)の入手

データ整理(写真・表・グラフ)  結果の考察

・本日取り組むのは?【□に✓を記入】  今日やることに✓を記入する

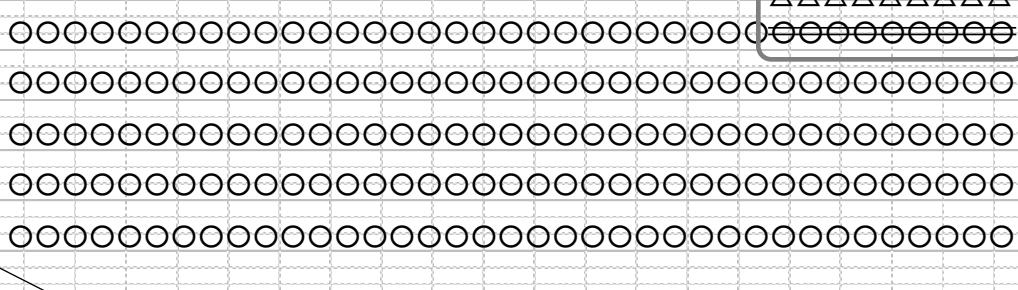
口頭課題(研究テーマ)の検討  先行研究や資料の調査  口仮説・見通しの検討

実験・調査方法や研究の進め方の検討      実験・調査      結果の分析や考察

## ・本日の目的 乳酸についての基礎調査の発表

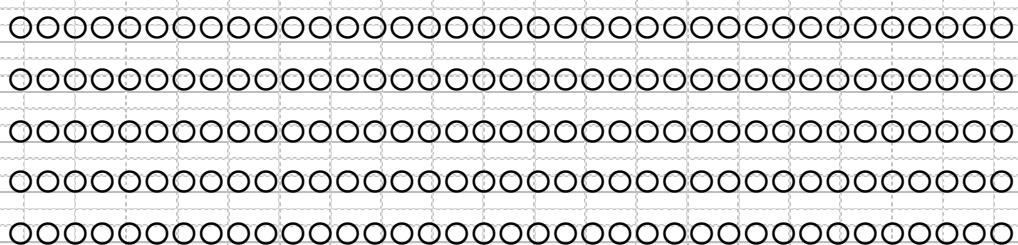
訂正は二重線で行い、  
修正は上に記す

## 発表者Aさん ○○のHPからの情報



参考文献の  
情報は正確  
に記す

発表者Bさん 『△△と乳酸』(鶴橋一郎著 高津出版)からの情報



## 発表者Cさん 口口からの情報

画像データや  
別紙はしっかりと糊付けする

画像や別紙コピー

割印の要領  
で記入者が  
署名する

署名

以下余白

余白部分を明記し、次回は次のページから記入を始める

授業の最後には振り返りを行い、次回何をするのかを明記しておく

・次回に向けて 研究計画について検討する

## 【目次】

## 【参考文献・参考ホームページ リスト】

書籍名・雑誌名・新聞名 (HP トップタイトル)	該当ページ
著者・執筆者 (HP 開設者)	
出版社 (HP の URL)	
発行年月日 (HP 閲覧日)	

書籍名・雑誌名・新聞名 (HP トップタイトル)	該当ページ
著者・執筆者 (HP 開設者)	
出版社 (HP の URL)	
発行年月日 (HP 閲覧日)	

書籍名・雑誌名・新聞名 (HP トップタイトル)	該当ページ
著者・執筆者 (HP 開設者)	
出版社 (HP の URL)	
発行年月日 (HP 閲覧日)	

書籍名・雑誌名・新聞名 (HP トップタイトル)	該当ページ
著者・執筆者 (HP 開設者)	
出版社 (HP の URL)	
発行年月日 (HP 閲覧日)	

書籍名・雑誌名・新聞名 (HP トップタイトル)	該当ページ
著者・執筆者 (HP 開設者)	
出版社 (HP の URL)	
発行年月日 (HP 閲覧日)	

書籍名・雑誌名・新聞名 (HP トップタイトル)	該当ページ
著者・執筆者 (HP 開設者)	
出版社 (HP の URL)	
発行年月日 (HP 閲覧日)	

## 【アイデアの拡張・整理・共有】

月 日 作成

### 視覚化する

(目的) 課題解決方法を視覚化し、研究対象を決める。

(方法) 調査した情報から課題解決のマインドマップを作成、自分の研究対象を選択する。

自分の班の興味のあるテーマを中央に置き、どのようなアプローチがあるかや課題の解決方法があるか、マインドマップで整理します。テーマに関する情報や連想される内容などをどんどん記入し、できるだけ大きなマインドマップを作成しなさい。マインドマップが完成したら、マインドマップの中から、自分が取り組む研究対象を選びなさい。

興味のあるテーマ

## 【アイデアの拡張・整理・共有】

月 日 作成

### 先行事例を調査する

(目的) 研究内容に関する先行研究を調べる。

(方法) Google Scholar を利用して、先行事例の内容をまとめる。

研究内容に関する先行研究を Google Scholar から探して要約しなさい。研究にはオリジナリティが必要です。調査・研究方法や研究対象をキーワードにして、実験・調査方法を参考にできるようにまとめてください。もし、全く同じ内容で先行研究がある場合は論文中の結論やまとめにある今後の課題を参考に、先行研究を引き継ぎ研究することもできます。

タイトル	筆者	発表年月日
研究方法		
研究成果		
この研究の問題点や今後の課題		

タイトル	筆者	発表年月日
研究方法		
研究成果		
この研究の問題点や今後の課題		

\* 文献などの情報は P. 4~5 の参考文献リストに必ず記しておきなさい。

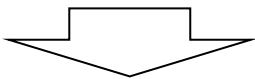
## 【アイデアの拡張・整理・共有】

月 日 作成

以下のスペースでは、LCIで学習した方法も活用して自由に記入し、議論を深めよう！

【研究計画】

課題(研究テーマ)	
明らかにしたい 具体的な内容	



月 日 作成

必要な 器具・材料 など	
	日時や取り組む内容などをできるだけ詳しく記入する。
研究の 具体的計画	

DATE 年 月 日	記入者	確認教員	DATE 年 月 日
・現状の把握【□に記号を記入: ◎(十分にOK)、○(一応OK)、△(不十分な部分あり)、×(未着手)】			
課題(研究テーマ)の検討 <input type="checkbox"/> 先行研究や資料の調査 <input type="checkbox"/> 実験(調査)方法の検討 <input type="checkbox"/> 実験(調査)計画 <input type="checkbox"/> 必要物品の把握・調達 <input type="checkbox"/> データ(結果)の入手 <input type="checkbox"/> データ整理(写真・表・グラフ) <input type="checkbox"/> 結果の考察 <input type="checkbox"/>			
・本日取り組むのは?【□に✓を記入】			
<input type="checkbox"/> 課題(研究テーマ)の検討 <input type="checkbox"/> 実験・調査方法や研究の進め方の検討		<input type="checkbox"/> 先行研究や資料の調査 <input type="checkbox"/> 実験・調査	<input type="checkbox"/> 仮説・見通しの検討 <input type="checkbox"/> 結果の分析や考察
・本日の目的			
・次回に向けて			